ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅桜木町団地建替土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	No.1	調査位置	千葉市若葉区桜木4丁目3番外			北緯	35° 37' 18.2"
発注機関	千葉市			調査期間	平成 26年 1月 15日 ～ 25年 1月 17日	東経	140° 9' 22.3"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=28.85m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	20.31m								

試錐機	Do-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-3B

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	27.95	0.90	0.90		盛土	暗茶褐			粘性土主体、所々砂質土含む 炭化物混入 色調茶褐色及び黒色不規則に含む
1	26.55	1.40	2.30		ローム	茶褐			全体に均質で、含水量は少なく、炭化物含む
2	25.95	0.60	2.90		粘土質ローム	茶褐			粘性は強く、含水量は中位 不均質で、やや凝灰質状を呈する 炭化物及び植物根混じる
3	24.15	1.80	4.70		凝灰質粘土	乳白			不均質で、粘性は強い 炭化物及びスコリア混入 色調不均一、茶褐及び黄褐色混じる
4	22.95	1.20	5.90		凝灰質細砂	乳白～黄褐～黄灰			細砂主体とし、粘性ある粘性土全体に含む 炭化物混入し、色調不均一
5	21.95	1.00	6.90		粘土質細砂	茶褐			含水量は中位、粘性あり 炭化物多量に含む
6	18.85	3.10	10.00		微細砂	茶褐～褐灰～茶褐			全体に粒子均一で、含水量初唯 7m～8m間、炭化物含み、薄層状に粘土挟む 色調不均一 9m以深炭化物混入無い
7	14.15	4.70	14.70		微細砂	黄褐			粒子均一で、含水量は中位 色調均一で、混入物特になし
8	8.54	5.61	20.31		微細砂	黄褐			粒子均一で、含水量は中位 色調均一で、混入物特にない

孔内水位(m)／測定月日：1/16 2.10　1/17 14.70

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	2	4／30	4
1.45					
2.15	1／11	2／11	1	4／32	4
2.47					
3.15	0／15	1／25		1／40	1
3.55					
4.15	1／18	1	1／7	3／35	3
4.50					
5.15	3	4	5	12／30	12
5.45					
6.15	3	3	2	8／30	8
6.45					
7.15	10	11	13	34／30	34
7.45					
8.15	10	12	14	36／30	36
8.45					
9.15	9	11	12	32／30	32
9.45					
10.15	9	10	12	31／30	31
10.45					
11.15	10	11	11	32／30	32
11.45					
12.15	10	13	15	38／30	38
12.45					
13.15	10	11	12	33／30	33
13.45					
14.15	10	11	12	33／30	33
14.45					
15.15	25	23	12／3	60／23	78
15.38					
16.15	23	23	14／3	60／23	78
16.38					
17.15	24	24	12／2	60／22	82
17.37					
18.15	22	23	15／1	60／21	86
18.36					
19.15	27	33		60／20	90
19.35					
20.15	30	30／6		60／16	113
20.31					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.15	1-P1	⊖		
1.45				
3.15	1-P2	⊖		1/15
3.55				
5.15	1-P3	⊖		
5.45				
6.15	1-P4	⊖		
6.45				
7.15	1-P5	⊖		
7.45				
12.15	1-P6	⊖		
12.45				
15.15	1-P7	⊖		1/16
15.38				
				1/17

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅桜木町団地建替土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	No.2	調査位置	千葉市若葉区桜木4丁目3番外			北緯	35° 37' 17.3"
発注機関	千葉市			調査期間	平成 26年 1月 22日 ～ 25年 1月 23日	東経	140° 9' 25.1"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=28.46m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	20.34m								

試錐機	Do-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	27.76	0.70	0.70		盛土	暗茶褐			粘性土主体、砕石混入	
1	26.76	1.00	1.70		ローム	茶褐			所々粘土質を呈し、炭化物含む	
2 3 4	23.76	3.00	4.70		凝灰質粘土	白茶～褐～黄褐～黄～灰			色調不均一で、粘性は強い 炭化物及びスコリア混入 4.70m以深、色調黄灰色に変化し、色調均一となる 砂分含み、粘性は強い	1/22 3.40
5	22.56	1.20	5.90		粘土混じり細砂	黄褐			粒子均一で、粘土分含む 炭化物混入	
6 7 8	19.46	3.10	9.00		微細砂	黄褐～茶褐～赤褐			粒子機人津で、含水量は中位 色調互層状に変化し、酸化みられる	1/23 8.40
9 10 11 12 13 14	13.66	5.80	14.80		微細砂	茶褐			粒子均一で、含水量は中位 混入物特になし	
15	12.66	1.00	15.80		微細砂	黄褐			粒子均一で、含水量は中位 ところ層状に酸化みられる	
16 17 18 19 20	8.12	4.54	20.34		微細砂	黄褐～茶褐～褐灰			粒子均一で、含水量は中位 所々貝殻片混入 18.90m、色調褐灰色に変化	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	2	1	2	5/30	5
1.45	12	8			
2.15	1	1	1	3/30	3
2.45					
3.15	1	1		2/30	2
3.45	20				
4.15	2	2	3	7/30	7
4.45					
5.15	3	4	5	12/30	12
5.45					
6.15	7	10	11	28/30	28
6.45					
7.15	7	10	11	28/30	28
7.45					
8.15	6	8	13	27/30	27
8.45					
9.15	7	9	9	25/30	25
9.45					
10.15	7	8	9	24/30	24
10.45					
11.15	6	8	11	25/30	25
11.45					
12.15	10	12	16	38/30	38
12.45					
13.15	10	11	13	34/30	34
13.45					
14.15	10	11	14	35/30	35
14.45					
15.15	23	27	13/2	63/22	86
15.37					
16.15	15	25	20/5	60/25	72
16.40					
17.15	30	30/8		60/18	100
17.33					
18.15	50	10/1		60/11	164
18.26					
19.15	23	37		60/20	90
19.35					
20.15	24	36/9		60/19	95
20.34					

原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	2-P1	⊖
1.45		
3.15	2-P2	⊖
3.45		
4.15	2-P3	⊖
4.45		
5.15	2-P4	⊖
5.45		
7.15	2-P5	⊖
7.45		
12.15	2-P6	⊖
12.45		
15.15	2-P7	⊖
15.37		

室内試験（　）

掘進月日：1/22、1/23

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅桜木町団地建替土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

ボーリング名	No.3	調査位置	千葉市若葉区桜木4丁目3番外			北緯	35° 37' 18.4"
発注機関	千葉市			調査期間	平成 26年 1月 24日 ～ 25年 1月 28日	東経	140° 9' 23.9"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=28.74m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	23.30m								

試錐機	Do-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-3B

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	27.94	0.80	0.80		盛土	暗茶褐			粘性土主体、砕石編及び植物根混入
1	26.84	1.10	1.90		ローム	茶褐			全体に均質 炭化物含む
2～4	23.84	3.00	4.90		凝灰質粘土	黄褐～黄～灰～茶褐～緑灰			色調不均一で、粘性は中位～強い 炭化物及びスコリア混入 3.80m以深、緑灰色を呈し色調均一
5～7	21.74	2.10	7.00		微細砂	緑灰～淡灰			粒子均一で、所々酸化みられる
8～18	10.49	11.25	18.25		微細砂	黄褐			粒子均一で、含水量は中位～多い 炭化物混入
19～23	5.44	5.05	23.30		微細砂	暗褐			微細砂状を呈し、所々酸化した細砂混じる 含水量は中位 色調暗褐色を呈し、所々茶褐色混じる

孔内水位(m)／測定月日：1/25 2.40／1/24 3.30

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	2	4/30	4
2.15	1/15	1/15		2/30	2
3.15	0	1/20		1/30	1
4.15	2	2	3	7/30	7
5.15	6	7	9	22/30	22
6.15	5	6	9	20/30	20
7.15	6	6	9	21/30	21
8.15	6	8	11	25/30	25
9.15	8	9	11	28/30	28
10.15	8	9	11	28/30	28
11.15	9	12	13	34/30	34
12.15	10	11	15	36/30	36
13.15	8	10	12	30/30	30
14.15	9	10	13	32/30	32
15.15	7	11	12	30/30	30
16.15	8	10	12	30/30	30
17.15	7	9	14	30/30	30
18.15	12	28	20/7	60/27	67
19.15	21	29	10/1	60/21	86
20.15	35	25/8		60/18	100
21.15	25	35		60/20	90
22.15	28	32/9		60/19	95
23.15	25	35/5		60/15	120
23.30					

原位置試験

深度(m)	試験名および結果
3.00	孔内水平載荷試験

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.00	3-D1	D		
2.00	3-D2	D		
3.80	3-P1	⊖		
4.15	3-P2	⊖		
4.45				
5.15	3-P3	⊖		1/24
5.45				
8.15	3-P4	⊖		1/25
8.45				
13.15	3-P5	⊖		1/27
13.45				
18.25				
18.42				

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅桜木町団地建替土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

シートNo

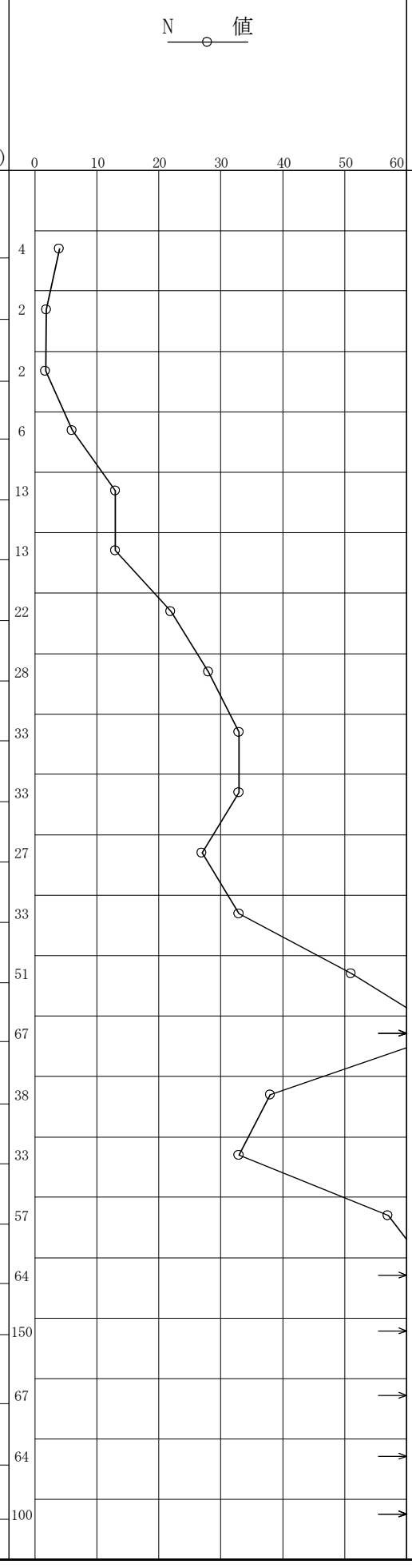
ボーリング名	No.4	調査位置	千葉市若葉区桜木4丁目3番外			北緯	35° 37' 19.5"
発注機関	千葉市			調査期間	平成 26年 1月 29日 ～ 25年 1月 30日	東経	140° 9' 21.5"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=28.74m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	
総掘進長	22.33m								

試錐機	Do-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
	28.34	0.40	0.40		表土	暗茶			ローム質土主体	
1	26.44	1.90	2.30		ローム	茶褐			均質で、スコリア片極少量混入 2m以深、粘土質を呈する	
3	24.99	1.45	3.75		凝灰質粘土	黄乳灰			軟質で、粘性は強い 酸化物含む	1/29 3.00
4	23.94	1.05	4.80		粘土	黄灰			やや硬質で、細砂少量混入	
5	22.99	0.95	5.75		粘土質細砂	暗黄灰			粒子均一で、規則的に粘土多量混入	
6	21.89	1.10	6.85		粘土混じり細砂	暗黄灰			不規則に粘土含み、含水量は少ない	
7	11.99	9.90	16.75		細砂	暗黄灰			粒子均一で、含水量は少ない 薄層状に酸化物所々挟む 10m以深、含水量は中位、雲母片点在 13m以深、微細砂強く、含水量は少ない 14.30m付近、ブロック状に粘土挟む 14.40m付近、酸化物挟む 15m付近、やや粒子荒く不均一	
17	9.94	2.05	18.80		微細砂	暗黄灰			粒子均一で、含水量は少ない 非常に密であり、雲母片混入	
19	7.99	1.95	20.75		貝殻混じり細砂	暗灰			貝殻片多量混入し、含水量は多い	
21	6.41	1.58	22.33		細砂	暗灰			粒子均一で、含水量は中位 酸化物ごく少量含む	

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	1	1	2	4/30	4
1.45					
2.15	1/17	1/15		2/32	2
2.47					
3.15	1/18	1/16		2/34	2
3.49					
4.15	1	2	3	6/30	6
4.45					
5.15	4	5	4	13/30	13
5.45					
6.15	5	4	4	13/30	13
6.45					
7.15	7	7	8	22/30	22
7.45					
8.15	9	9	10	28/30	28
8.45					
9.15	10	11	12	33/30	33
9.45					
10.15	10	11	12	33/30	33
10.45					
11.15	7	8	12	27/30	27
11.45					
12.15	9	12	12	33/30	33
12.45					
13.15	12	18	21	51/30	51
13.45					
14.15	14	26	20/7	60/27	67
14.42					
15.15	10	12	16	38/30	38
15.45					
16.15	7	11	15	33/30	33
16.45					
17.15	15	26	16	57/30	57
17.45					
18.15	18	22	20/8	60/28	64
18.43					
19.15	47	13/2		60/12	150
19.27					
20.15	15	26	19/7	60/27	67
20.42					
21.15	19	24	17/8	60/28	64
21.43					
22.15	31	29/8		60/18	100
22.33					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1.15	4-P1	⊖		
1.45				
3.15	4-P2	⊖		
3.45				
4.15	4-P3	⊖		
4.45				
5.15	4-P4	⊖		
5.45				
6.15	4-P5	⊖		
6.45				
7.15	4-P6	⊖		
7.45				
13.15	4-P7	⊖		
13.45				
17.15	4-P8	⊖		
17.45				
				1/29
				1/30

ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市営住宅桜木町団地建替土質調査業務委託

事業・工事名

ボーリングNo										

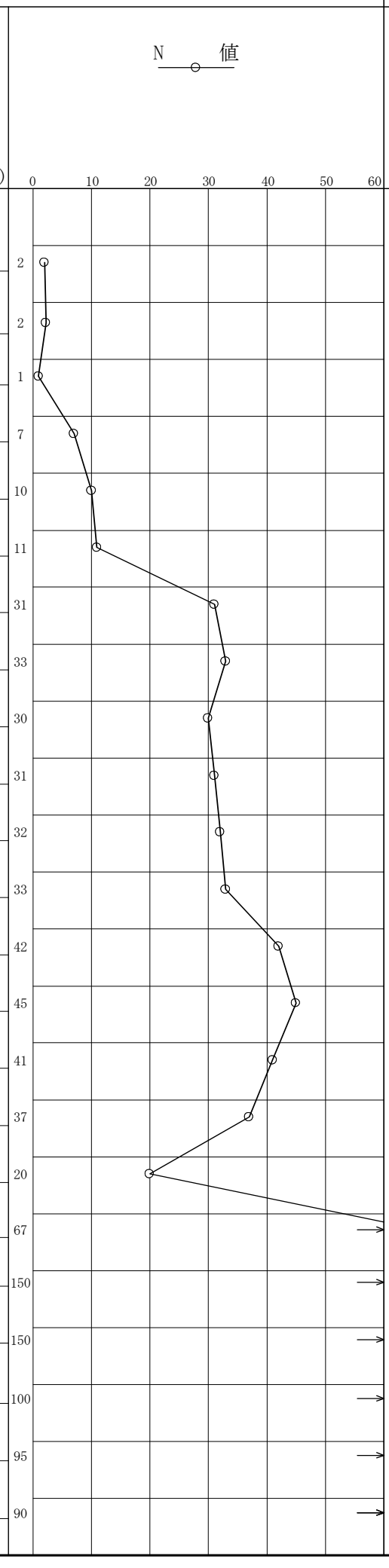
シートNo

ボーリング名	No.5	調査位置	千葉市若葉区桜木4丁目3番外			北緯	35° 37' 19.5"
発注機関	千葉市			調査期間	平成 26年 1月 18日 ～ 25年 1月 21日	東経	140° 9' 24.9"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	H=28.40m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平0° 90°	使用機種	試錐機	Do-D	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	23.35m								エンジン	NFD-10	ポンプ	BG-3B

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	27.90	0.50	0.50		盛土	暗茶褐			表層砂利敷き 粘性土主体混入物無い
1	26.70	1.20	1.70		ローム	茶褐			均質で、粘性は弱い やや粘土質で炭化物含む
2 3	24.60	2.10	3.80		凝灰質粘土	黄褐～茶褐～黄灰			所々粘性は強く、全体に色調不均一 炭化物含み、酸化みられる
4	23.70	0.90	4.70		砂質シルト	緑灰			全体に細砂含み、炭化物混入 軽石ごく少量含み、粘性は弱い
5 6	22.10	1.60	6.30		シルト混じり微細砂	緑灰			粒子均一で、所々黄褐色混じる
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	11.70	10.40	16.70		微細砂	黄褐～茶褐～黄褐			粒子均一で、含水量は中位 色調黄褐色と茶褐色の互層状 炭化物含む 13m～15m間、茶褐色薄層で挟む
17	10.70	1.00	17.70		細砂	赤褐			シルト質若干含み、含水量は中位～多い 全体に酸化みられる 軽石混入
18 19 20 21 22 23	5.05	5.65	23.35		微細砂	暗褐～黄褐			粒子均一で、含水量は中位 18.35m～19.80m間、貝殻細片多量混入 19.80m以深、色調黄褐色を呈し、貝殻片混入無くなる

孔内水位(m)／測定月日：1/18 2.70、1/20 5.35、1/21 14.30

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1		2/30	2
1.45					
2.15	1	1	1	3/40	2
2.55					
3.15	1			1/30	1
3.45					
4.15	2	2	3	7/30	7
4.45					
5.15	3	3	4	10/30	10
5.45					
6.15	3	4	4	11/30	11
6.45					
7.15	9	11	11	31/30	31
7.45					
8.15	10	11	12	33/30	33
8.45					
9.15	9	10	11	30/30	30
9.45					
10.15	8	11	12	31/30	31
10.45					
11.15	10	11	11	32/30	32
11.45					
12.15	9	11	13	33/30	33
12.45					
13.15	12	15	15	42/30	42
13.45					
14.15	13	16	16	45/30	45
14.45					
15.15	11	13	17	41/30	41
15.45					
16.15	8	12	17	37/30	37
16.45					
17.15	5	7	8	20/30	20
17.45					
18.15	13	23	24/7	60/27	67
18.42					
19.15	40	20/2		60/12	150
19.27					
20.15	42	18/2		60/12	150
20.27					
21.15	28	32/8		60/18	100
21.33					
22.15	28	32/9		60/19	95
22.34					
23.15	29	31		60/20	90
23.35					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	5-P1	⊖
1.45		
3.15	5-P2	⊖
3.45		
4.15	5-P3	⊖
4.45		
5.15	5-P4	⊖
5.45		
6.15	5-P5	⊖
6.45		
7.15	5-P6	⊖
7.45		
13.15	5-P7	⊖
13.45		
18.15	5-P8	⊖
18.42		

室内試験（　）

掘進月日：1/18、1/20、1/21